

第12回  
介護保険推進全国サミット  
inうすき 2011

# 第12回 介護保険推進 全国サミット inうすき

テーマ これからの介護保険を考える ～ 東日本大震災を乗り越えて～

2011年  
10月27日(木)・28日(金)

会場 臼杵市民会館、臼杵中央公民館

参加費 1人3,000円[資料代および28日の弁当代含む]  
※交流会費別希望者は、別途1人3,000円となります。

各席のお申込みについては、臼杵市役所のホームページをご覧ください。

臼杵市  
<http://www.city.usuki.oita.jp/>

27日 13:30～17:30(交流会18:00～)

28日 9:00～15:20

主催：臼杵市

主幹：第12回介護保険推進全国サミットinうすき実行委員会

後援：厚生労働省、大分県、一般社団法人日本介護支援専門員協会、公益社団法人全国老人福祉施設協議会、社会福祉法人全国社会福祉協議会、社団法人国民健康保険中央会、社団法人全国老人保健施設協会、社団法人日本医師会、社団法人日本介護福祉士会、公益社団法人日本看護協会、社団法人日本作業療法士協会、社団法人日本歯科医師会、社団法人日本社会福祉士会、社団法人日本薬師会、社団法人日本理学療法士協会(順不同)

お問い合わせ  
第12回介護保険推進全国サミットinうすき実行委員会  
事務局(臼杵市保険健康課内)

〒875-0051 大分県臼杵市大字臼杵72番1  
TEL:0972-63-1111(内線1157、1150) FAX:0972-64-0964  
E-MAIL [kaigo-summit@city.usuki.oita.jp](mailto:kaigo-summit@city.usuki.oita.jp)  
URL <http://www.city.usuki.oita.jp/>

# 第12回 介護保険推進全国サミット

第12回  
介護保険推進全国サミット  
inうすき 2011

これからの介護保険を考える ～ 東日本大震災を乗り越えて～

## プログラム



(敬称略)

10/27 木



司会  
権文 啓一

13:30~13:50 開会式  
【臼杵市民会館大ホール】

13:50~15:00 基調講演  
【臼杵市民会館大ホール】  
いかにして社会保障を守るか

分科会 第1分科会  
15:30~17:30 【臼杵市民会館大ホール】  
“認知症ケア”にどう取り組むか

講師  
権文 啓一 慶應義塾大学商学部教授

コーディネーター  
池田 学 熊本大学大学院生命科学研究部  
脳機能病態学分野教授

パネリスト  
玉井 豊 医療法人敦賀温泉病院理事長・院長  
木村 成志 大分大学医学部総合内科学第3講座講師  
齋田 美知子 特定非営利活動法人メイアイヘルプユー理事  
社会福祉法人こぶしの会理事・評議員

オブザーバー  
厚生労働省老健局

第2分科会  
【臼杵市民会館小ホール】

見守りから後見まで  
ワンストップの市民後見制度を

コーディネーター  
棕野 美智子 大分大学福祉科学研究センター教授

パネリスト  
泉 房樹 明石市長  
齋藤 修一 品川成年後見センター所長  
東 啓二 南富良野町保健福祉課課長補佐

オブザーバー  
厚生労働省老健局

第3分科会  
【臼杵市中央公民館大ホール】

在宅ケアの革新  
～定期巡回・随時対応サービスの展開～

コーディネーター  
小山 剛 高齢者総合ケアセンターこぶし園総合施設長

パネリスト  
松田 晋哉 産業医科大学医学部教授  
対馬 徳昭 ジャパンケアグループ代表  
社会福祉法人ノテ福祉会理事長  
篠田 浩 大垣市福祉部社会福祉課課長補佐

オブザーバー  
厚生労働省老健局

18:00~20:00 交流会 【THE WELLS】

第1分科会コーディネーター  
池田 学

第2分科会コーディネーター  
棕野 美智子

第3分科会コーディネーター  
小山 剛

10/28 金



パネルディスカッション  
コーディネーター  
大森 彌

9:00~9:45 分科会まとめ  
【臼杵市民会館大ホール】

10:00~12:00 パネルディスカッション  
【臼杵市民会館大ホール】  
第5期目の介護報酬改定に向けて

コーディネーター  
大森 彌 東京大学名誉教授  
NPO法人地域ケア政策ネットワーク代表理事

パネリスト  
中村 秀一 内閣官房社会保障改革担当室長  
堀田 力 公益財団法人さわやか福祉財団理事長  
池田 省三 龍谷大学社会学部教授  
坂本 恵子 宮古市地域医療保健推進監

オブザーバー  
厚生労働省老健局長

12:00~13:20 昼食・休憩  
12:50~ 臼杵市ほっと!!  
生き生きサポーターによる健康体操

13:20~13:40 開催市からのメッセージ  
【臼杵市民会館大ホール】  
未来の臼杵市に豊かな老後の暮らしを

中野 五郎 臼杵市長

13:50~14:50 特別講演  
【臼杵市民会館大ホール】  
いま、心の復興を考える

大林 宣彦 映画作家

14:50~15:20 閉会式  
【臼杵市民会館大ホール】



特別講演  
大林 宣彦

会場 ～ 臼杵インターバス停 (佐白ライナー)

時	会場発	臼杵インター マルミヤストア奥発
14	10	20
17	00	20

会場 ～ 宿泊先

宿泊される方で送迎の申し込みをされた方につきましては18時00分と20時30分にシャトルバスを運行いたします。乗り間違えのないようお願いいたします。

10月28日 (木)

JR臼杵駅 ～ 会場 ～ JR臼杵駅

8時00分より随時

最終は16時30分市役所発となります。

臼杵インターバス停 (佐白ライナー) ～ 会場

時	臼杵インター マルミヤストア奥発	会場着
11	35	45

会場 ～ 臼杵インターバス停 (佐白ライナー)

時	会場発	臼杵インター マルミヤストア奥発
12	15	30
14	10	20
17	00	20

宿泊先 ～ 会場 (送迎の申し込みをされた方)

各宿泊先からの出発時間

(5分前にロビーに集合してください)

- 大分第1ホテル 7:15
- 大分リーガルホテル 7:15
- ルートイン大分駅前 7:20
- 亀の井ホテル 8:10
- ホテルニューうすき 8:15

※時間になり次第出発いたしますのでご了承ください。

JR臼杵駅 時刻表

時	佐	特	空	特	空	特	空	特	空	特	空	特	空
7													
8	2		55										
9													
10	3		36										
11													
12	19		36										
13													
14			38										
15													
16	9		38										
17													
18	9		33										
19													
20			51										
21													
22	19		50										
23													

【特】・【特空】・【特空】・【特空】・【特空】・【特空】  
【特空】・【特空】・【特空】・【特空】・【特空】

お問合せ先

株式会社大分航空トラベル

「第12回介護保険推進全国サミット in うすき」係

担当；油布、三浦、尾上

〒870-0027 大分県大分市末広町1丁目1番18号

ニッセイ大分駅前ビル1階

TEL ; 097-536-0101 FAX ; 097-536-0021

受付時間 平日 10:00～18:00 土曜日 10:00～13:00

日曜日、祝祭日休業

平成23年9月30日

各位

第12回介護保険推進全国サミット in うすき  
参加証・各種参加券等送付のご案内

時下、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

過日お申込みいただきました「第12回介護保険推進全国サミット in うすき」の  
参加証（名札）・各種参加券、請求書等を送付させていただきます。

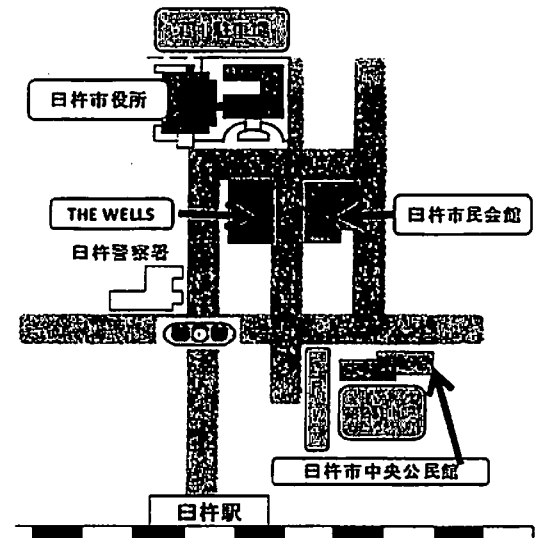
ご不明な点、お問合せ等ございましたら裏面担当者までご連絡をお願いいたします。  
スタッフ一同、当日会場にてお待ちしております。お気をつけてお越しください。

＝送付内容＝

参加証 当日会場では必携となります。必ずお持ちください。  
各種参加券 同上  
請求書 内容をご確認いただき指定期日（10月14日）までにお振込み願  
います。

その他のご案内

- ・ストラップは受付でお渡しいたします。
- ・会場周辺に駐車場を確保していますが、  
数に限りがありますのでなるべく乗り  
合わせでご来場ください。
- ・領収書を事前にご依頼いただいた方は当日  
「総合受付」にてお渡しをさせていただきます。



無料シャトルバスのご案内

10月27日（木）

JR白杵駅 ～ 会場 ～ JR白杵駅

10時45分より随時

最終は18時30分市役所発となります。

交流会に参加される方は、交流会終了後シャトルバスを運行いたします。

白杵インターバス停（佐白ライナー） ～ 会場

時	白杵インター マルミヤストア奥発	会場前
11	35	45
13	45	55

大分空港から高速リムジンバス（佐白ライ  
ナー）で白杵までお越しいただけます。  
（片道2,000円、往復3,400円）

## 研修報告書

研修 「第12回介護保険推進全国サミット in うすき」

日時 2011年10月27日(木) 13:50~15:00

会場 大分県臼杵市 臼杵市民会館大ホール

大分県臼杵市大字臼杵 72 番 1

### 【基調講演】

「いかにして社会保障を守るか」

講師 権丈義一 慶應義塾大学商学部教授

### 【総括】

介護保険制度は、平成12年度のスタート以来、高齢者の自立支援と尊厳の保持という基本理念のもと、見直しや改正を重ねながら、介護を社会全体で支える仕組みとして定着してきました。

平成24年度からは第5期介護保険事業がスタートしますが、保年度はこれからの介護保険制度を考える上で重要な年です。高齢者が介護が必要になっても、住み慣れた地域や住まいで安心して暮らせるよう、質の高い保険・医療・福祉・介護サービスの確保と共に、将来にわたって安定した介護保険制度の確立が求められています。

基調講演では「いかにして社会保障を守るか」と題して、社会保障の権威である慶應義塾大学商学部教授の権丈善一教授が、社会保障の現状認識から、日本の財政状況から社会保障のあるべき姿を幅広く論じられた。少子高齢化からくる社会保障のひずみをいかにサステナブルな制度にするか。その具体的な提案も出された興味深い基調講演だった。



## ・ 社会保障改革と税制

冒頭、権丈教授は「社会保障の問題は財源調達の問題」と結論を出した。具体的なお金もそうだが、人材という問題も財源の問題である。要するにこの日本にはお金が無いのが問題であるとの結論である。

社会保障とは「ミクロには貢献財源に基づいて分配された所得を、必要に基づいて修正する再配分制度であり、マクロには、基礎的消費部分を社会化することにより、広く全国に有効需要を分配するための経済手段である」と結論付けている。

## ・ 国家経営行き詰まりの原因

権丈教授は、これからは介護と医療に国の手厚い政策が必要と訴えている。それには財源論が付きまとう。しかし政権交代後の政府は「社会保障の抜本改革」「消費税率の維持」というマニフェストを掲げて政権交代を果たしたものの、肝心の財源論は何も明記されていなかった。その後、埋蔵金だとか予算の組み替えだとか言ってはみたものの、結果的にはその目的はほとんど達成できなかった。つまり民主党はマニフェストで出来ないことを出来るといってしまったと指摘。その後、現政権は「財源についてはマニフェストに欠陥があった。高齢化に伴い、社会保障は毎年1.1兆円ずつ自然に増えていくが、その分を考慮していなかったのは甘かった」とマニフェストに掲げた財源の見通しの甘さを認めた。このコメントを紹介しつつ、それではどのよ

うにして社会保障を守らなければならないのかという課題に話は変わる。

### ・正直なこの国の将来像

今回、政府・与党の一体改革案が閣議報告されたが、それはまだ始めの一步。自公政権時に平成 21 年度税制改革法の付則では「消費税を含む税制の抜本的な改革を行うため、11 年度までに必要な法制上の措置を行う」とあり、これは履行しなければならないと指摘。この部分は野党の協力も必要となるが、ねじれ国会の中で厳しいとのコメントもされている。そこで権丈教授が 2020 年までに基礎的財政収支を黒字化するためのシナリオを提案される。

それは「仮に、毎年 2% の消費税率引き上げを 2012 年度から行えば、2020 年度の消費税率は 23% になる。これぐらいの消費税率に到達してはじめて、長期金利が名目成長率を 1% 上回っても、「社会保障国民会議」が提案したさやかな社会保障機能強化と財政安定の両立をぎりぎり可能となる。」

というきわめて現実的な厳しい提案をされた。

### ・社会保障は新たな改革が必要

権丈教授は「今日の社会情勢の中で、貧困対策、保育、医療介護、障害者福祉に積極的労働市場政策の充実を求める声の高まりに応えるためにも、社会保障国民会議が示した「選択と集中の改革」を力強く実行していくと共に、更なる給付の効率や、消費税に頼らずに社会保険料の引き上げで社会保障費を賄う方法、その過程で負担能力の高い者が、そうでない者を助ける連帯の



仕組み、再配分の強化も視野に入れる必要が出てくる。」と言っている。

さらに「医療保険では、保険料率が高くなる原因が、医療費の増加ではなく賃金の低下によって起こる現象が目立ってきた。この問題は持てる者が持たざる者を助ける仕組みの強化で対応すべきである。」と非常に示唆にとんだ発言をしている。

### 【所 感】

社会保障に関する問題はマクロ的経済的視野にたって論じるべきであり、決して政争の具にすべきではない。それは権丈教授も指摘しているように、絵に描いた財源論で将来の社会保障を論じても、まったく意味が無い。そういう意味において政権交代後の2年間は、政権与党の社会保障に関する議論はまったくされていないに等しい。むしろ現政権が唱えている財政健全化の道筋は、前政権が国会提出した「財政健全化責任法案」の内容とまったく同じであるということも、この基調講演の中で明らかになった。しかしむしろ「社会保障と税の一体改革」を、本来のあるべき社会保障の姿を見据えて、政権与党も現実的な数字を用いて、真摯な議論を行うべきである。その提案が権丈教授のひとつの提案である2020年までに2年ごとに消費税を2%づつ上げるといった提案は、国民にとっては耳の痛い話ではあるが、将来的にも現実身のある話である。

最後に、今回の基調講演の題でもある「いかにして社会保障を守るか」

ということに関して、権丈教授は「社会保障を誰から守るのか、何から守るのか」という命題を言った。その答えは「政治家から」というのが答えではないだろうか。